

秋の夜長に・・・

千年前に思い馳せながら



福井県立音楽堂ハーモニーホール。見事なホールでした！



㊦ダンス部おめでとう！校内の木々の紅葉も最終

昇降口の賞状の数々。本当によく頑張っています！
3年萩原君の松本山雅FCトップ昇格の直筆色紙もま
ずはお披露目・・・新人戦ほか大会はまだ続きます・・・

11月後半。校内の美しい木々も落ち葉の季節を迎え生徒たちは掃いても掃いても毎日増える枯れ葉と格闘しています●11月16日(土)近畿総文祭のため福井訪問。新幹線延伸により駅前の開発が進み福井駅はたくさんの恐竜オブジェがお客様を出迎えます。総文祭会場の福井ハーモニーホールはシドニーのオペラハウスを思わせる音響の素晴らしいホール！長野県とはまた違う熱量溢れる文化部高校生の姿を拝見することができました。●ダンス部全国大会出場決定！1月に行われる「ダンスドリルウィンターカップ2025」への切符を手に入れました。日頃の成果を存分に発揮してきて下さい！

.....

#道長と同じ月をながめよう

平塚市博物館が掲げたキャンペーンをご存じでしたか？藤原道長が詠んだ歌と同じ月が11月16日に見られる！ということで話題となりました。

「この世をば 我が世とぞ思う 望月の 欠けたる
ことも なしと思へば」

自分の娘が後一条天皇に入内した祝いの宴席で、満月を見ながら詠んだとされる歌です。1018年11月26日(当時の暦で10月16日)の満月は午前7時過ぎ。今年の11月16日の満月が午前6:29なので道長が詠んだ日の月とほぼ合致する状態だったようです。また大河ドラマ「光る君へ」のこのシーンが17日(日)放送であったことから 1000 年前の状況を重ね合わせロマンが広がり、当日の月は本当に美しく平安に思いを馳せ私も道長の心境に思い巡らせたところです。真意は色々でさまざまな解釈がある「望月の歌」。満月ではなく16夜なので少し欠けており、「現実の月は欠けていても、我が世とぞ思うこの世は、【欠けたることもなしと思へば】と詠めるくらい幸せだった」とも読めるかもしれません。古典、歴史、書をもっと学びたいと、にわか大河ファンの私は興奮して月を見上げた夜でした。偶然、橋渡先生(書道)発案で、「書」を楽しむ「職員書道同好会」が発足されました！楽しみです！